

2010年11月1日
東日本旅客鉄道株式会社

2011年3月期 第2四半期決算説明会 主なQ&A

Q: 運輸業以外のセグメントは通期の利益予想を据え置いているが、グループの業績見通しについて、4月当時と比較して変化はあるか。

A: 一社一社の単位においては、4月当初の予想と比較して上ぶれている部分あるいはリスクを抱えている要素があります。とはいえ、セグメントを通してみると計画線上的実績が出てくるものと想定されることから、運輸業以外のセグメントの業績予想を見直さないという結論に至ったものです。

Q: 運輸収入が回復してこない場合、今後のオペレーションコストを下げる方策としてどのようなことを考えているか。

A: ダイヤの見直し、特にご利用が少ない特急列車の見直しを進めているところです。また、息の長い取り組みとしては、輸送の実態に合わせるため、設備の見直しに向けた検討を始めております。

Q: 自社株の購入について会社の考えを聞きたい。

A: グループ経営ビジョンにおいて、株主還元の充実を打ち出しており、連結配当性向を一つの基準に、現金配当を株主還元を中心に考えております。現金配当以外の方策としては、その時点での資金の状況に応じて自社株式の購入を考えております。

以上